

東北農政局における農林水産省就業体験実習生の募集、決定等について

平成 16年 3 月 1 日
一部改正 平成 24年 5 月 10日
一部改正 平成 26年 3 月 6 日
一部改正 令和 4 年 6 月 16日
一部改正 令和 6 年 4 月 16日
東 北 農 政 局

農林水産省就業体験実習実施要領（平成 15年 1 月 31日付け 14農人第 1917号大臣官房秘書課長通知。以下「実施要領」という。）第 15の（１）に定める東北農政局の実施分に係る実習生の募集・決定の具体的手続及び実習の実施に関する留意すべき事項は、次によることとする。

（実習生の募集）

第 1 実習生の募集は、次により行う。

- （１）東北農政局長は、実習生の受入れについて、受入れ可能な課室名、期間、人数、実施業務等につき別紙様式 1 にとりまとめ、大臣官房地方課長を経由して大臣官房秘書課長へ報告するとともに、大学等及び学生に対して、インターネット等を通じて、実習の実施を通知する。
- （２）大学等の就職担当部局等は、実習に参加させるものとして推薦する学生を別紙様式 2 にとりまとめ、被推薦者毎に別紙様式 3 の個人調書を添付して、東北農政局長に提出する。ただし、海外に所在する大学等の学生が実習を希望する場合に限り、学生が直接、東北農政局長に提出する。

（実習生の決定等）

第 2 実習生の決定は、次により行う。

- （１）東北農政局長は、受入れ可能人数、学生の希望等を勘案し、受入れの可否を決定する。この際、実習を実施する企画調整室、局内各課及び各県拠点（以下「課等」という。）の長による面接を行うことができる。
- （２）東北農政局長は、別紙様式 4 により速やかに大学等へ、受入れ可能な学生の氏名及び実習を実施する課等（以下「受入課等」という。）を通知する。当該学生への結果の通知は、各大学等において行うこととする。ただし、実習生が海外に所在する大学等の学生である場合に限り、東北農政局長は、当該学生に直接結果を通知するものとする。
- （３）実習生は、実施要領第 6 の（５）に規定する誓約については、別紙様式 5 による誓約書に署名し、東北農政局長に提出することとする。

（実習の実施に係る留意すべき事項）

第 3 実習の実施方法等は、次のとおりとする。

- （１）東北農政局長は、受入課等の長に、その所属職員（原則として課長補佐クラス）のうちから指導員を指名させる。

- (2) 指導員は、別紙様式 6 により実施要領第 7 の (3) に規定する実習計画書を実習開始前日までに東北農政局長まで提出するものとする。
- (3) 受入課等の長または指導員は実習最終日に、実習期間中の評価について、実習生へ書面または口頭で伝達するものとする。
- (4) 指導員は、実習終了後、速やかに実習の結果について別紙様式 7 により東北農政局長に報告することとする。
- (5) 実習生は、実習期間終了後 2 週間以内に、別紙様式 8 により実習内容に関する報告書(1,000 字程度)を作成し、指導員を経由して東北農政局長に提出することとする。
- (6) 東北農政局長は、実習終了後、実習の結果について別紙様式 9 にとりまとめ大臣官房地方課長を経由して、大臣官房秘書課長に報告するものとする。
- (7) 実習に必要な机、椅子、パソコン等の事務用品は受入課等において準備し、実習生に供与する。
- (8) 指導員は、実施要領第 11 の趣旨を踏まえ、実習生が省内システムを適正に利用できるよう措置するとともに、実習生を指導・監督しなければならない。
- (9) 実習時間は午前 9 時 15 分から午後 4 時 45 分 (以下、「定時」という。) までとし、このうち午後 0 時から午後 1 時までには休憩時間とする。なお、例外的に定時以外にも若干の実習を行うことがある。

(実習の期間の延長の取扱い)

第 4 実施要領第 4 の (2) に基づく実習の期間の延長については、次のとおりとする。

- (1) 受入課等の長は、実習生から実習の期間の延長の申出があり、受入課等として延長して受け入れることができると判断したときは、速やかに東北農政局長に連絡する。
- (2) (1) により、実習の期間の延長の申出について連絡を受けた東北農政局長は、速やかに実習の期間の延長の申出を行った実習生が所属する大学等に連絡し、当該期間の延長についての可否の判断について伺いを立てるとともに、受入延長を行う期間が実習生が加入する保険 (実施要領第 13 に定める保険をいう。) の保険期間内であることを確認する。ただし、実習生が海外に所在する大学等の学生である場合に限り、当該実習生が確認し、東北農政局長へ報告する。
- (3) 東北農政局長は、(2) において行った実習の期間の延長の可否に係る判断等を総合的に勘案し、当該延長の可否について決定するものとする。
- (4) 東北農政局長は、(3) の結果について、速やかに受入課等の長及び当該実習生の所属する大学等に連絡するものとする。
- (5) (3) において、実習の期間の延長について「可」と判断したときは、東北農政局長、受入課等の長等は、パソコンの貸出期間の延長等必要な手続を取るものとする。

(実習結果の報告)

第 5 各大学等は、東北農政局長に、実習の結果の報告を求めることができる。

(特例的な取扱い)

第 6 本実施細則第 1 及び第 2 の定めるところにかかわらず、実習生の募集及び決定等に関しては、大学等の事情に基づいて異なる取扱いを定めることができる。

(別紙様式 1)

令和○年度 インターンシップ受入先一覧

実習実施機関（局庁名）	受入課等	受入期間	人数	実習内容	受入条件等	課等の業務紹介

（記載例）

実習実施機関（局庁名）	受入課等	受入期間	人数	実習内容	受入条件等	課等の業務紹介
○○局	○○課	○月○日～○月○日 5日間	1	○○関係資料作成業務	環境保全に関心のある方、 パソコンの基本操作が可能な方	農産物の○○に關すること。 ・○○の支援 ・○○の推進等

具体的な受入日が決定していない場合は、「○月～○月」でも可

(別紙様式2)

農 林 水 産 省 就 業 体 験 実 習 推 薦 申 込 書

大学・学部名等： _____
総括責任者職名： _____
氏名： _____
連絡担当者職名： _____
氏名： _____
住所： _____
電話番号： _____
メールアドレス： _____

☐ 「農林水産省就業体験実習実施要領」及び「東北農政局における農林水産省就業体験実習生の募集、決定等について」の内容に同意の上、下記学生を推薦します。

	学生氏名	ふりがな	性別	年齢	学年	学部・学科	希望先						どこでも可	選択した部署以外の受入れになる場合は、参加を希望しない	東北農政局でのインターンシップで希望する業務分野等	大学での農林水産省就業体験実習の取扱いについて（単位化予定等）	備考
1																	
2																	
3																	

(記入例) 「農林水産省就業体験実習実施要領」及び「東北農政局における農林水産省就業体験実習生の募集、決定等について」の内容に同意の上、下記学生を推薦します。

	学生氏名	ふりがな	性別	年齢	学年	学部・学科	希望先						どこでも可	選択した部署以外の受入れになる場合は、参加を希望しない	東北農政局でのインターンシップで希望する業務分野等	大学での農林水産省就業体験実習の取扱いについて（単位化予定等）	備考
							大臣官房	新事業・食品産業部	統計部	消費・安全局	輸出・国際局	農産局					
1	農林 太郎	のうりん たろう	男	21	3	○○学部○○学科			○			○		○	○○○○		
2	農林 次郎	のうりん じろう	男	22	3	学部 学科				○							
3	農林 三太郎	のうりん さんたろう	男	21	3	××学部××学科							○		××××		

* 希望先に○をする

(別紙様式 3)

東北農政局インターンシップ調書

ふりがな						写真貼付欄 カラー、枠に収まる 大きさに貼り付けて ください。 スマートフォン撮影 等でも可です。					
氏名											
性別		年齢	歳	学年							
連絡先	郵便番号					連絡がつく曜日・時間帯					
	住所										
	携帯電話 番号					月	火	水	木	金	時間帯
	メールアドレス (携帯は不可)										

ご連絡先について支障の無い範囲でご記入ください。個人情報ですので取扱いには十分注意いたします。

所属大学	大学・大学院名				文系・理系	
	学部・学科					
	専攻					
	所属研究室					
現在の学 習・研究の 具体的な内 容						
語学力・ その程度	外国語名			他機関・企 業等での インターン シップ 経験		
	英検、TOEIC TOEFL等					
特技等			注目してい る時事問題 や本等			

1. インターンシップを応募した理由や志望動機(インターンシップを行う上での目的、目標など) 300字程度

--

次ページ(2枚目)に続きます

2-1. 東北農政局でのインターンシップで希望する業務分野等

2-2. インターンシップを希望する部に○をしてください。（複数選択可）					
					どこでも可
選択した部署以外の受入れになる場合は、参加を希望しない					

2-3. 実習に参加できない日程があれば全て正確に記載してください。 (例) ○月○日～○月○日

受入部局、受入れ時期等の調整のため、担当者から直接ご連絡する場合がありますので、御協力をお願いします。

3. 自己PR(学業や課外活動で力を入れていること、自己分析など) 300字程度

【アンケート】下記の質問についてご協力頂けましたら幸いです。支障のない範囲でご記入ください。

Q.1 東北農政局のインターンシップを、どこで知りましたか？（○を付ける）						
先輩	友人・知人	大学	SNS	農林水産省HP	その他	
Q.2 国家公務員総合職または一般職（大卒）試験を受験予定ですか？（○を付ける） 合格済の方は合格した年を記載してください。						
はい	いいえ	検討中	合格済	合格年(令和○年度)		
Q.3 Q.2で「はい」を選択された方は希望職種と受験予定の試験区分をお答えください。 「合格済」を選択された方は希望職種と合格済の試験区分をお答えください。						
希望職種（○を付ける）					受験予定または合格済の試験区分	
総合職事務	総合職技術	一般職行政	一般職技術	未定		
Q.4 現時点でどのようなキャリアを歩みたいと考えていますか。（○を付ける。複数選択可）						
大学院進学	国家公務員（総合職）	国家公務員（一般職）	地方公務員	民間企業等	大学・研究機関	その他

印刷プレビューで枠内に文字が収まること及び両面1枚に収まることを必ずご確認ください。

御協力ありがとうございました。

(別紙様式 4)

文書番号
日 付

大学総括責任者 殿

東北農政局長

農林水産省就業体験実習受入れの決定等について

貴殿より推薦のあった農林水産省就業体験実習の受入れについては、選考の結果別記農林水産省就業体験実習生名簿の者を受け入れることとしましたのでお知らせします。

なお、「誓約書」の提出については、別途お知らせします。

(別紙様式 5)

誓 約 書

東 北 農 政 局 長 殿

東北農政局において就業体験実習を受けるに当たり、農林水産省就業体験実習実施要領（平成 15 年 1 月 31 日大臣官房秘書課長通知）及び東北農政局における農林水産省就業体験実習生の募集、決定等について（平成 16 年 3 月 1 日東北農政局長通知）を理解し、実習生として下記のとおり遵守することを誓約します。

記

- 1 . 実習時間は午前 9 時 15 分から午後 4 時 45 分（以下、「定時」という。）までとし、このうち午後 0 時から午後 1 時までは休憩時間とする。なお、例外的に定時以外にも若干の実習を行うことがあるので、指導員の指示に従うこと。
- 2 . 実習期間中は専ら所定の実習に従事し、実習目的の達成に努めること。
- 3 . 実習期間中は農林水産省職員が遵守すべき法令及び規則を守るとともに、実習生としての活動について指導員の指導、監督等に従うこと。
- 4 . 実習期間中は、特定の政治政党、宗教、企業、団体の利益のための行為を行わないこと。
- 5 . 東北農政局における実習活動中に知り得た情報（公開されているものを除く。）の開示については、指導員の指示に従うこと。実習終了後においても、同様とすること。
- 6 . 実習終了後 2 週間以内に、別紙様式 8 の実習結果報告書（1,000 字程度）を作成し、指導員を経由して東北農政局長に提出すること。
- 7 . 実習の成果を論文等により外部へ発表する場合には、事前に東北農政局長の承認を受けること。
- 8 . 病気等のため予定されていた実習を受けられない場合は、あらかじめ、指導員にその旨を連絡すること。やむを得ない場合は、事後速やかに指導員にその旨を連絡すること。
- 9 . 実習中において農林水産省または第三者に損害を与えた場合は、その責めは実習生が負うこと。そのような場合に備え、加入している保険の条件等をよく確認しておくこと。

令和 年 月 日

大 学 名

学生氏名（署名）

(別紙様式 6)

実 習 計 画 書

実 習 生	受入課等名	局 課
	所属大学名	
	氏 名	
実習指導員	職 名	
	氏 名	
実 習 計 画	月 日	

(別紙様式 7)

インターンシップ受入結果報告

受入課等名			
指導員名			
実習生名			
大学学部名	大学	学部	年
期 間	月	日	月 日
出席状況	出席	日	欠席
	遅刻	日	早退
評 価 項 目		評価	特記事項
実習生の 実習態度	規律正しい態度であり、実習中支障がなかった	A ・ B C ・ D	
	業務内容の的確な理解ができていた	A ・ B C ・ D	
	業務内容に適応した行動であった	A ・ B C ・ D	
	目的意識をもって意欲的に取り組む姿勢が見られた	A ・ B C ・ D	
今後の改善点			
その他（感想・良かった点等自由にご記入下さい。）			

評価：A（優れている）B（やや優れている）C（普通）D（劣っている）の4段階

(別紙様式 8)

実 習 結 果 報 告 書

受入課等名	
所属大学名	
氏 名	

(別紙様式 9)

令和〇年度 インターンシップ受入結果一覧

実習実施機関 (局庁名)	受入課等	受入期間(欠務日数)		実習生の所属大学	実習生の氏名	実習内容

(注) 指導員の報告書(別紙様式 7) 及び各実習生の報告書(別紙様式 8) を添付すること。

(記入例)

実習実施機関 (局庁名)	受入課等	受入期間(欠務日数)		実習生の所属大学	実習生の氏名	実習内容
〇〇局	〇〇課	〇月〇日～〇月〇日(〇日)	5 日間	〇〇大学	農林 太郎	